

小児科医よりメッセージ

1ヶ月健診を終え、2ヶ月から3ヶ月に入ると、赤ちゃんがじっとみつめてきたり、にこっと笑ったりして、「あれっ？私（ママ、パパ）のことをもうわかるのかしら？」と思い、嬉しくなる瞬間も多くなりますね。一方、「この子はミルクを吐きやすいかもしれない」「栄養は足りている？」「体重は増えている？」「うんちは今のペースで大丈夫かしら？」「お肌の調子は？」「首はすわったの？」「股関節の脱臼って聞くけど大丈夫？」そんな心配も増えてくる頃です。

現在、集団での3-4ヶ月乳幼児健診が見合わせになっております。そこで、希望される方には、当院で自費にて健診を実施することと致しました。お子様の発育、発達を確認し、ご両親の悩みをご相談いただく場となれば幸いです。

また、予防接種は、ウイルスや細菌によって引き起こされる病気（感染症）を予防するために、ワクチンを接種することで病気に対する抵抗力（免疫）をつけるものです。特にヒブ、肺炎球菌、百日咳など1歳未満の乳児が罹患すると重症化しやすいワクチンは、推奨されている生後2ヶ月から接種をしておくことがとても重要です。

小さいお子様を連れ外出することには、大変な心配を伴うと思いますが、新型コロナウイルス以外の病気による「命や健康へのリスク」を増やさないように、受けられるときにきちんとワクチンを接種しましょう。

当院では、健診とワクチンのみの専用外来時間を設けております。感染症予防には十分配慮しております。ぜひ、ご利用下さい。

小児科 小澤真津子 中島圭代 澤井潤